

札幌市立北都中学校の取組

(学校ホームページ <http://www.hokuto-j.sapporo-c.ed.jp/>)

1 学校の実態・地域性等

生徒数は650名を超え、中学校の学級数の小規模化が進む中、今年度は1学級増となり、札幌では中規模となる学校である。3校の小学校から新入生を迎えることから、各学校の学習指導における重点、旅行的行事や総合的な学習における学習履歴、道徳教育の展開方法などを密に連携を取り合う必要のある関係にある。夏休みは中学校教諭が小学校訪問をし、冬休みは小学校教諭が本校を訪れ互いの研修、交流を深めている。小中連携を意識し、9年間での生徒の成長を考える足がかりを一步ずつ着実に歩んでいる地域である。

2 道徳教育全体計画 (別紙1参照)

本校の学校教育目標は「開拓の精神」のもと、次の4つの柱がある。

- ① 心理を愛し、創造的思考力を備える人間
- ② 責任を自覚し、自主・自立をめざす人間
- ③ 個性を尊重し、豊かな情操にみちた人間
- ④ 生命を尊重し、強じんな身体をもつ人間

その柱の中の「生命を尊重し、強じんな身体をもつ人間」と道徳科の内容全体に関わる項目である「D 生命の尊さ」に重点を置き、道徳教育全体計画を展開している。各学年の道徳教育の重点目標にも「D 生命の尊さ」を置き、中学校3年間の中で一貫して育んでいく計画である。学校全体における道徳教育の要である「道徳科」と各教科、特別活動、総合的な学習との関連、家庭や地域との連携の方法が図られるよう全体計画を作成している。

3 別葉 (別紙2-1,2,3参照)

道徳教育の要である道徳科と各教科等のそれぞれの単元と実施時期の関わりを、実態カリキュラムに即して見直し作成している。別葉においては、各教科の教材と道徳の内容項目における関係性が顕著ではない教材については空欄としている。それは道徳教育の要である道徳科の授業において、取り扱っていくからである。別葉は年間指導計画との関わりの中で、各教科と道徳科との内容項目の関連性を授業者が把握し、生徒にとって道徳の内容項目との関連性を意識できるような展開ができるよう、また、教師にとっては教科等の横断的な関連性も明確になるように作成している。年度ごとに見直し、学校教育全体における道徳性の育成が効果的になることを大切にしている。

4 年間指導計画 (別紙3参照)

道徳科の授業 35 時間において、22 項目 22 時間以外の 13 時間の重点としては、学校教育目標の「目指す生徒像」に近づくことができるよう設定している。各学年の重点目標の 1 つに「D 生命の尊重」を据え、生徒の 3 年間の成長を育ていけるよう計画を立てている。平成 31 年度の全面実施に向けて、教科用図書の採用が発表されてはいない中、本校では副読本の内容に沿って作成している。平成 30 年度には検定図書が発表されるので、教科用図書が発表となってから、さらに年間指導計画を再検討する予定である。

5 道徳科の評価について

道徳科の評価は以下の 5 つがポイントとなっていくと考える。

- ① 他者との比較ではない個人内評価
- ② 目標に対しての到達度を確認するものではない
- ③ 1 時間単位の評価ではなく、学期学年にわたって生徒がどれだけ成長したかという視点
- ④ 一人一人の生徒の個人内での道徳的成長を文章で評価し、認め励ます内容を記述する
- ⑤ 教師側の授業改善のため、毎時間道徳の授業に対する評価を生徒に実施する

本校では「エピソード評価」と「ポートフォリオ評価」を取り入れた評価を考えている。生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できる評価に近づくことができると考えているからである。

エピソード評価については、生徒の授業での発言や、言葉として表現が苦手な生徒については“うなずき”などを含めた授業での様子を前向きに捉え、エピソードとして教師が記録を重ねていくことや授業後の日常生活での実践の様子を積極的に記録していくことができ、認め励ます評価づくりにつながると考える。

ポートフォリオ評価については、資料として授業における感想や考えを書いたプリントを蓄積していく。本校では同じ形式の学習プリント(別紙4)を授業で用いることで、生徒の考えの様子の変容を中長期的に捉えていこうと考えている。読み物資料の感想や分析から始まった学習プリントが、「登場人物に投影して考え始めた」、「さらに自分のこととして深く考えるようになってきた」、「自他の関わりを深く考え、自分の考えを他者の意見を聞き多角的に捉えるようになってきた」などの変容を捉えることができると考える。また、反省には生徒からの授業の評価も入れ、教師側の授業づくりの改善につなげていこうと考えている。

6 研究のまとめ

本校は平成 31 年度の道徳科全面実施に向け、道徳の授業と評価の研究を少しずつ進めている。本校の研究主題に関わる取組として「居心地の良い環境づくり」を研究している。「豊かな心」は「居心地の良い環境づくり」の礎であり、「豊かな心」を育む道徳教育の要は「道徳科の授業」と捉え、道徳科の授業実践に力を入れてきている。

授業改善に向けて実践的な取組を 3 つ実施した。

① ミニ研修会の実施

夏休みを利用したミニ講習会を研究部主催で 3 回実施した。

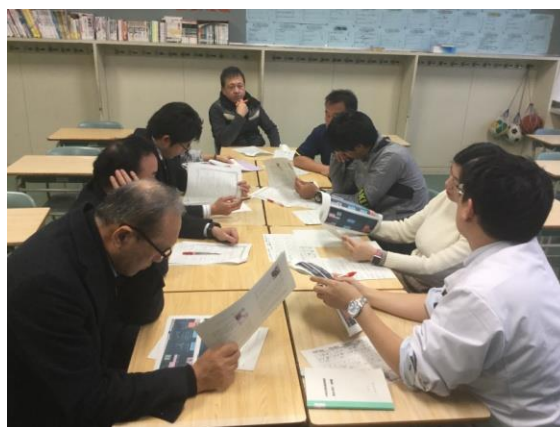
講師の富川校長より、道徳科の充実した授業展開に向けて読み物資料を用い、右脳を活性化させることの良さや、指導案作りのための手がかり、道徳の授業づくりの観点や範読について、考え議論する授業に向けての中心発問についてなどを、実際の教材を用いて実施した。



② 道徳の授業づくり研修会

全教職員を学年の枠を取り払い、担任、副担任、年齢構成を考慮した 3 つのグループを作り、授業づくり・指導案検討を実施した。

内容項目は本校の道徳の重点目標である「D 生命の尊さ」について、指導案作り担当者が作成したものを検討した。論点としては「多面的・多角的な視点をもつことができる主たる発問となっているか」「主たる発問の設定は内容項目に沿っているか」「生徒が主体的に考える授業展開となっているか」である。検討の中では「自分の本心を語らせるにはどうしたらよいだろうか」「模範的な解答ではなく、自分事として捉えて考えさせるにはどうしたらよいか」という点や「国語と道徳の違いはどこにあるか」などの意見や考えが出される深い議論となった。年間 35 時間の授業がより充実した展開となっていくよう、読み物資料についての授業づくりの視点が大きにつまったものとなった。



指導案は、同じグループの教諭が実践し交流するなど、理論だけではなく、実践の伴った研究となった。

上記の2つの取組は、そのスケールを広げることができた。具体的には、授業の実践を当該学級担任ではなく、学年の担任・副担任の枠を取り払って授業実践をする学年や、よりよい授業づくりに向けて次年度の研究課題としてほしいなどの声が上がってきている。道徳科の授業の充実は「豊かな心」を育み、「確かな学力」「健やかな体」づくりへとつながっていく。さらに研究を深めていくきっかけとなった。



【板書のみで特化した副担任とのTT授業】

③ 地域の人材・施設を活用した授業

地域とのつながりという観点では、白石区にJICAがあることを考慮し、全校道徳として「C 国際理解、国際貢献」（関連項目「D 生命の尊さ」）を主題とした授業を実施した。ルワンダに青年海外協力隊に従事した講師の先生から講話していただいた。ルワンダと日本のつながりや、ルワンダでの歴史的な出来事から、生命の尊さを実感する内容となる授業となった。



おわりに

本校では全学年を通して「D 生命の尊重」を重点目標に据えている。生徒の感想の中には生命の連続性や有限性についての記述が増えてきていることや、多面的・多角的に考えている発言や記述が増えてきている。「考え、議論する道徳」に向けての授業展開は、さらに研究を深めていくことが大切であると考え。多面的・多角的な見方や道徳の内容項目について触れた記述が見られるのは、題材の内容や授業展開の方法によるところが大きい。生徒の記述は平成31年度に全面実施となる道徳の評価と授業の改善につながっていくものと考え。

本校の道徳の授業は、読み物資料による授業展開を中心としながら、地域の施設や人材を活用し、生徒にとってより効果的な方法を模索し、道徳性の育成に向け学校全体として取り組んでいくことを大切にしていきたい。

○本日の授業を振り返って気がついたことや感想を書こう。

命は、自分一人のものではないんだな、と思いました。
提供するのはすごい怖いことだけど、その分助かって良い思いをする人もいます。
だから、田中さんはたいがい「極んだな」と思いました。

最後 2人とも良い気分になってよかったです。
田中さんもがんばったと思います。

平成29年度

札幌市立北都中学校

道徳教育全体計画

実態と期待

<保護者・地域の願い>

- ・思いやりあふれる人間
- ・地域とともに生き、感謝できる人間。
- ・主体的に考え、自立した人間。

<教師・学校の期待>

- ・基礎学力の定着、問題解決力のある生徒。
- ・周囲を尊重するあたたかい心と困難に立ち向かう強い意志をもつ生徒。
- ・からだを鍛え、心身ともに健康な生徒。

<生徒の実態>

- ・明るく素朴で人なつこい生徒が多い。
- ・家庭学習の習慣が定着していない。
- ・成功体験が少なく、自信が持てない。
- ・自分の意見を適切に表現するのが苦手。

各教科

意欲的に学び、心豊かな生徒の育成

国語	適切な表現と正確に理解する能力を育成し、国語を尊重する態度を養う。
社会	我が国の国土と歴史、国際社会の理解など公民的資質の基礎を養う。
数学	数学的活動を通して、事象を数理的に考察し表現する能力を高める。
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に見方や考え方を養う。
音楽	表現や鑑賞を通して、音楽を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。
美術	表現や鑑賞を通して、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。
保健体育	健康・安全についての理解や運動の実践を通して健康の保持・増進を図る。
技術・家庭	生活に必要な知識・技術を習得し、生活を工夫し、創造する能力を育てる。
外国語	言語や文化への理解を深め、国際理解の基盤を養う。

特別活動

集団の一員として、より良い生活を築こうとする実践的態度や人間としての生き方の自覚を深め、自己を生かす能力を育てる。

学級活動	生徒会活動	学校行事
・望ましい人間関係の構築。 ・生活上の諸問題を解決し、よりよい生活をつくりあげる態度	・状況を考えて、自主的かつ主体的によりよい学校づくりに貢献する。	・仲間と協力し、向上心をもって参加する。 ・思いやりの心や、責任をもって主体的にやりとげる態度の育成を図る。

<生徒指導>

- ・基本的生活習慣の確立
- ・自分や他人を愛し、尊重する。
- ・集団の一員としてのマナーやモラルを考える。

<進路指導>

- ・将来を見据えて自己の生き方を考え、目標に向かって努力する。
- ・職場体験等を通して、自分が社会とどのように関わるか考える。

本校の学校教育目標

開拓の精神

- ・真理を愛し、創造的思考力を備える人間
- ・責任を自覚し、自主・自立をめざす人間
- ・個性を尊重し、豊かな情操にみちた人間
- ・生命を尊重し、強じんな身体をもつ人間

道徳教育の重点目標

- ・道徳的価値の自覚を主体的に深める
- ・道徳的实践力を高める

「思いやりの心をもって生きることができる豊かな心」の育成

- ・基本的生活習慣
- ・相手の個性や立場の尊重
- ・生命を尊重し、主体的に集団に貢献する。

各学年の道徳教育の重点目標

1学年	・望ましい生活習慣の確立。 ・責任と役割を自覚し集団生活の向上に努める ・生命の尊さを尊重し、自他の生命を尊重する。
2学年	・自己をみつめ、充実した生き方を追求する。 ・友情の尊さを理解し、信頼できる友人をもつ。 ・生命の尊さを尊重し、自他の生命を尊重する。
3学年	・自分を支えている人に感謝の気持ちをもつ。 ・国際社会に目を向け、人類の幸福に貢献する。 ・生命の尊さを尊重し、自他の生命を尊重する。

各学年の発達段階に応じて、適切に題材を配置する

1	主として自分自身に関すること
2	主として他の人とのかかわりに関すること
3	主として自然や崇高なもののかかわりに関すること
4	主として集団や社会とのかかわりに関すること

道徳の時間の指導の方針

- ・各教科、総合的な学習の時間、特別活動との関連を図り、それらにおける道徳教育を補充・深化・統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的实践力を育成する。
- ・道徳の時間で得た気づきを他の活動に還元する。

総合的な学習の時間

主体的に判断し、未来を切り拓こうとする生徒の育成～課題をみつけ、自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や態度を育てる。

1学年 福祉体験 → 2学年 職業体験 → 3学年 進路選択

- ・体験的な活動を通して、自己の生き方を考える態度を養う。
- ・校外とのつながりの中で、モラルやマナーについて考えるとともに社会に生きるひとりの人間としての自己を見つめる。

<家庭との連携>

- ・各種通信やホームページからの情報発信により、本校の教育活動の内容についての理解を深める
- ・授業参観や期末懇談、PTA活動などの折に生徒の実態を交流し、学校の道徳活動に理解と協力をいただく。

<地域や社会との連携>

- ・地域人材の活用。
- ・体験活動における、地域や各種機関との連携。
- ・健全育成各団体との連携と見守り。
- ・関係機関との連携を強化し、生徒の健全な育成に努める。

学校教育全体

<時代や社会の要請>

- ・心豊かなで健やかな身体をもつ人間
- ・自然を愛し、環境を保全する心
- ・伝統と文化を尊重する心
- ・国際理解、国際社会への貢献

<学習指導要領>

- ・確かな学力
- ・豊かな心
- ・健やかな身体

調和のとれた育成

<札幌市の教育>

- 【自立した札幌人】
- ・未来に向かって創造的に考え、主体的に行動する人。
 - ・心豊かで、自他を尊重し、ともに高めあい、支え合う人。
 - ・ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人。

日常生活との関連

<学級・学校環境との関連>

- ・人との関わりの中で他を尊重し、望ましい人間関係を構築する。
- ・おちついた学校生活になるような環境を整える。
- ・読書等を通して情操を高める。

<学年・学級経営との関連>

- ・子どもたちが落ち着いた学校生活を送るために、生徒指導や教育相談を充実させる。
- ・社会に生きる人として不適切な行動があった場合に適切に指導する体制づくり。

<私たちの道徳の活用>

- ・特別な教科「道徳」を意識し、年間35時間で計画的にできるだけ多く活用する。
- ・日常生活や行事などと関連させたり家庭との連携の中で活用方法を検討していく。

北都中学校 1学年 道徳別葉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳の時間	1 B 思いやり、感謝 2 D 自然愛護 3 A 自主、自律	4 D 生命の尊さ 5 C 社会参画、公共の精神 6 B 相互理解、寛容 7 C 公正、公平、社会正義	8 B 思いやり、感謝 9 C 国際理解 10 C 勤労 11 A 節度、節制	12 A 希望と勇気 13 B 礼儀	14 C よりよい学校生活、	15 B 友情、信頼 16 C よりよい学校生活、 17 C 遵法精神	18 C 家族愛、家庭生活 19 A 自主、自律 20 A 節度、節制 21 B 思いやり、感謝	22 C 社会正義 23 D 生命の尊さ 24 C 強度の伝統と文化 25 C 勤労	26 A 真理の探究 27 C 国際理解	28 A 自主、自律 29 D よりよく生きる喜び	30 A 個性の伸長 31 C 我が国の伝統と文化 32 C よりよい学校生活、 33 D 生命の尊さ	34 D 自然愛護 35 D 感動、畏敬の念
国語	野原はうたう	花曇りの向こう 大根は大きな根？	ちよつと立ち止まって 好きなものを紹介しよう	空を見上げて 星の花が降るころに	大人になれなかった弟たちに シカの「落ち穂拾い」	いろは歌 月に思う	蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	幻の魚は生きていた	桜守三代	少年の日の思い出		
内容項目例	D 自然愛護	B 相互理解、寛容	D 生命の尊さ	C 我が国の伝統と文化の	A 真理の探究、創造	B 友情、信頼						
社会	私たちの地球と 世界の地域構成	人々の生活と環境	アジアの多様性と経済発展	世界の諸地域口統合を強めるヨーロッパ	世界に大きな影響力をもつ北アメリカ	南アメリカの開発と環境問題	他地域と結びつくオセアニア	世界の様々な地域の調査				
内容項目例	C 国際理解、国際貢献	D よりよく生きる喜び	B 相互理解、寛容 C 国際理解、国際貢献 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	→	→	B 相互理解、寛容 C 国際理解、国際貢献 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	→	→	C 国際理解、国際貢献			
数学	正の数・負の数	文字式	方程式			比例と反比例	平面図形	空間				資料の整理
内容項目例	A 真理の探究、創造	A 真理の探究、創造	C 公正、公平、社会正義			B 相互理解、寛容						C 社会参画、公共の精神
理科	身のまわりの物質		植物のくらしとなかま			光・音・力による現象						大地の変化
内容項目例	A 真理の探究、創造		D 生命の尊さ			A 真理の探究、創造						D 自然愛護 C 郷土愛
音楽	校歌 笛の基本	涙そうそう(歌) 笛(息の流れ)	翼をください ブリテンの曲	夏の思い出	ふるさと 魔王	合唱 ソーラン節 ふるさと		モルダウ	6段の調 合唱について	事の実技 翼を下さい	旅立ちの日に 大地讃頌	
内容項目例	C よりよい学校生活、集団生活	B 思いやり、感謝	B 相互理解、寛容	C 我が国の伝統と文化の	C 郷土の伝統と文化の尊	B 友情、信頼		C 郷土の伝統と文化の尊	C 我が国の伝統と文化の	C 我が国の伝統と文化の	B 思いやり、感謝	
美術	上靴を描く(デッサン) レタリング(文字のデザイン)		絵文字のデザイン			にぎる手					ルームプレート(木彫)	
内容項目例	A 向上心、個性の伸長 C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		A 真理の探究、創造			A 向上心、個性の伸長					D 自然愛護 D よりよく生きる喜び	
保健体育	体づくり運動 (保)心身の機能	陸上競技 の発達と心の成長		サッカー	ソフトボール	柔道	ダンス	機械運動			バレーボール	
内容項目例	A 節度、節制	A 自主、自律、自由と責任		B 友情、信頼	C 遵法精神、公德心	B 礼儀	D 感動、畏敬の念	A 希望と勇気、克己と強い意志			B 思いやり、感謝	
技術 家庭科	生活や社会における技術の役割 食生活の自立(青少年の栄養)	材料と加工法	製作品の設計・製作			衣生活の自立		社会環境とのかかわり	情報とわたしたちの生活	情報通信ネットワーク		
内容項目例	C 我が国の伝統と文化の A 自主、自律、自由と責任	A 節度、節制 C 社会参画、公共の精神		A 向上心、個性の伸長 D 生命の尊さ	D よりよく生きる喜び	A 節度、節制 B 相互理解、寛容		C 社会参画、公共の精神	C 遵法精神、公德心			
英語	Program2 アメリカの転校生	Program3 ウッド先生がやってきた	Program4 リサイクル活動	Program5 国際フードフェスティバル	Program6 由紀のイギリス旅行	Program7 The wonderful Ocean	Program8 Origami	Program9 A niw years bisit	Program10 Mikes Visit to Washington.D.C	Program11 Grandma Baha and Her Friends on a		
内容項目例	C 国際理解、国際貢献	C 国際理解、国際貢献	C 社会参画、公共の精神	C 国際理解、国際貢献	C 国際理解、国際貢献	D 自然愛護	C 我が国の伝統と文化の	C 国際理解、国際貢献	C 国際理解、国際貢献	C 国際理解、国際貢献		
総合的な学習		炊事学習への取組	福祉体験学習	文化祭の取り組み								
内容項目例		C よりよい学校生活、集団生活の充実	C 社会参画、公共の精神	B 相互理解、寛容								
特別活動	学級目標 学級組織	炊事学習への参加	1学期の反省	2学期の目標	学級組織づくり	2学期の反省	3学期の目標	一年間の反省、来年に向けて				
内容項目例	C よりよい学校生活、集団生活の充実		A 向上心、個性の伸長	A 希望と勇気、克己と強い意志	C 集団生活の充実	A 向上心、個性の伸長と	A 希望と勇気、克己と強い意志	D よりよく生きる喜び				

月	重点目標	迎える学校生活	1年 内容項目・主題・教材		2年 内容項目・主題・教材		3年 内容項目・主題・教材	
4	・新たな1年の始まりにあたり、意欲的に取り組む気持ちをもたせるとともに、自らの目標を明確にさせる。また、学習や生活の基本的な生活習慣を身に付けさせる。	・始業式・入学式 ・新入生歓迎会 ・学級組織づくり ・認証式	B6 思いやり、	キタジマくんからのメッセージ	C18 国際理解、	わたしにできること	D19 生命の尊さ	あなたはすごい力で生まれてきた
			D20 自然愛護	ハチドリのひとつしずく	A4 希望と勇気	ハチドリのひとつしずく	C15 よりよい学	ハチドリのひとつしずく
			A1 自主、自律	増えた塩ます	B8 友情、信頼	クマのぬいぐるみと私	C10 遵法精神、	二通の手紙
5	・旅行的行事の取組を通して、学級の一員としての自覚をもたせるとともに、人間関係を豊かにする取組を重視する。	・生徒総会 ・旅行的行事に向けた準備活動 ・旅行的行事	D19 生命の尊さ	花に寄せて	B7 礼儀	あいさつ	A4 希望と勇気	高く遠い夢
			B8 友情、信頼	班のでできごと	A2 節度、節制	ばなしの女	C16 郷土の伝統	島うたの心を伝えたい
			B9 相互理解、	自分らしさー松井秀喜	B9 相互理解、	遠足で学んだこと	C13 勤労	たんぼぼ作業所
			C11 公正、公平	いじめっ子の気持ち	B6 思いやり、	心に寄り添う	B6 思いやり、	手紙
6	・個と集団の関わり、集団としての発展や適切な行動をとれるようにさせる。	・旅行的行事 ・中体連 ・定期テスト ・陸上競技大会	B6 思いやり、	心をつなぐバス	C15 よりよい学	四十七年に感謝をこめて	C18 国際理解、	世界の地雷とたたかう町工場のオゾン
			C18 国際理解、	命を助けたい	D19 生命の尊さ	奇跡の一週間	A3 向上心、個	ぼくにもこんな「よいところ」がある
			C12 社会参画、	楽寿号に乗って	C16 郷土の伝統	祭りの夜	D21 感動、畏敬	湖の伝説
			A2 節度、節制	山に来る資格がない	C10 遵法精神、	許さない心	A2 節度、節制	早朝ドリブル
7	・1学期の活動を振り返り、夏休みへ向け、反省に基づいた新たな目標をもたせる。	・期末懇談 ・終業式 ・夏季休業	全校道徳「薬物乱用教室」					
			A4 希望、勇気	九番バッター	A3 向上心、個	私は十四歳	C17 我が国の伝	花火と灯ろう長し
			A4 希望と勇気	合唱コンクール	A4 希望と勇気	ビデオ「絶体絶命 650人決死の脱出劇」	D20 自然愛護	森からの伝言
8	・2学期の始まりにあたり、自らの目標を再確認させるとともに、生活のリズムを整えさせる。	・始業式	全校道徳「非行防止教室」					
			D22 よりよく生					
9	・職場体験や福祉体験を通して、働くことの意義やさまざまな立場で生きる人達の役割を将来の自分の姿に照らして考えさせる。	・定期テスト ・総合的な学習の日	B7 礼儀	朝市の『おはようございます』	B6 思いやり、	愛	C11 公正、公平	伝えたいことがある
			B8 友情、信頼	ちいちゃんのつめ	C14 家族愛、家	ごめんね、おばあちゃん	B7 礼儀	言葉惜しみ
			C15 よりよい学	全校一をめざして	C11 公正、公平	仲よく暮らそう	C15 よりよい学	V6をめざして
10	・北都文化祭に向けた取組の中で、学級の団結を高め、目標へ向けた活動を行おうとする気持ちを高めさせる。	・立会演説会 ・認証式 ・北都文化祭	全校道徳					
			C12 社会参画、	本が泣いています	B6 思いやり、	バスに乗って	B8 友情、信頼	殖生の宿
11	・日常活動等を通して、学級の人間関係を深め、集団の一員としての役割を果たそうとする意欲を養う。	・開校記念日 ・定期テスト	C14 家族愛、家	母はおいしいれ	C13 勤労	震災の中で	C14 家族愛、家	父からの手紙
			A1 自主、自律	デンさん	A3 向上心、個	十一月	A1 自主、自律	廃品回収で学んだこと
			A2 節度、節制	忘れ物	C17 我が国の伝	ビデオ「桂離宮 職人魂ここにあり」	D21 感動、畏敬	足袋の季節
12	2学期の活動を振り返り、冬休みへ向け、反省に基づいた新たな目標をもたせる。	・期末懇談 ・終業式	B6 思いやり、	思いやりの日々	D19 生命の尊さ	妹に	B6 思いやり、	流れ星
			C11 公正、公平	正義ってなに？	C15 よりよい学	みんなでとんだ！	B9 相互理解、	心のしみこむ”言葉”の力
1	・3学期の始まりにあたり、自らの目標を再確認させるとともに、生活のリズムを整えさせる。	・始業式	C10 遵法精神、	選手に選ばれて	D20 自然愛護	冬の使者『マガン』	A5 真理の探究	雪ん子のうた
			D19 生命の尊さ	決断！ 骨髄バンク移植第一号	A5 真理の探究	左手でつかんだ音楽	B8 友情、信頼	戦いのあとで
2	・新しい向けた自らの目標を描くとともに、お互いの新たな環境へのスタートを確かめ合う気持ちをもたせる。	・定期テスト ・高校入試	C16 郷土の伝統	ぼくのふるさと	A1 自主、自律	金語楼さんのこと	C11 公正、公平	卒業文集最後の二行
			C13 勤労	『看護する』仕事	B9 相互理解、	なみだ	B9 相互理解、	しあわせ
			A5 真理の探究	シュリーマンの夢	B8 友情、信頼	たまたま女に生まれただけ	B6 思いやり、	あふれる愛
			C18 国際理解、	日本から来たおばさん	C13 勤労	われ、ここに生きる	C12 社会参画、	加山さんの願い
3	・1年間を振り返るとともに、新たな年度に向けた自分の目標を定め、進級する自覚を養う。	・高校入試 ・卒業式 ・修了式	A3 向上心、個	木箱の中のえんぴつたち	C12 社会参画、	住みよい社会に	C18 国際理解、	もっと生きたい
			C17 我が国の伝	古都の雅、菓子的心	D19 生命の尊さ	書かれなかった遺書	C12 社会参画、	缶コーヒー
			D19 生命の尊さ	見沼に降る星	B8 友情、信頼	メールって…？友達って？	D19 生命の尊さ	たとえぼくに明日はなくとも

道徳ワークシート (A 5 サイズに縮小)

○月△日×曜日 (時間目) 第 △△回 道徳

題名 ○○○○ 年 組 番 氏名

○本日の授業を振り返って気がついたことや感想を書こう。

○今日の道徳の時間を振り返って

数字に丸をつけてください。

たいへんよい← →まったく

① 今日の授業は自分のためになりましたか。	4	・	3	・	2	・	1
② 今日の授業から新たな発見がありましたか。	4	・	3	・	2	・	1
③ 今日の資料はどうでしたか。	4	・	3	・	2	・	1
④ クラスの雰囲気はどうでしたか。	4	・	3	・	2	・	1
⑤ 自分自身を振り返ることができましたか	4	・	3	・	2	・	1